



# 支部だより

## 第 75 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5124

2013.06.04

### 目次

・2013年度（平成25年度）の始まりにあたって	1
・2013年度（平成25年度）中部支部総会のお知らせ	2
・2013年度支部総会議案	2
議案(1)：2012年度（平成24年度）中部支部事業報告	2
議案(2)：2012年度（平成24年度）中部支部会計報告	3
議案(3)：2012年度（平成24年度）中部支部会計監査報告	5
議案(4)：2013年度（平成25年度）中部支部事業計画案	5
議案(5)：2013年度（平成25年度）中部支部予算案	5
議案(6)：支部規約改正	7
・中部支部第20期役員への補充	8
・第18回公開気象講座のお知らせ	8
・平成25年度支部研究会のお知らせ	8

### ◆ 2013年度（平成25年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 神田 豊

2012年度は、中部支部内では4月に発達する低気圧に伴う暴風被害があり、愛知県に台風が2個上陸するなど、風にも注目された1年だったようです。コンピュータ性能の向上や様々な観測手段により局地的な大雨や風に関する研究も大きく前進しましたが、災害を引き起こす顕著現象を事前に予測するためには、より詳細な分析や幅広い研究の積み重ねが重要と考えられています。11月に開催した中部支部研究会においては、高校生の新鮮な視点による分析結果の発表もあり、小さくても未来の研究につながる成果が得られつつあります。

また、8月には「大気中の微粒子(エアロゾル)が気候に及ぼす影響」と題して公開気象講座を開催しました。経済の高度成長に伴う大気汚染は、その解明により被害を軽減できたものの、工業地帯や都市部固有の環境にとどまらず広範囲に影響していることがわかり、地球規模や長期的な視点で分析する必要性も生じています。この講演では、従来は全く異なる分野と見られていた研究成果が融合しつつことを実感することもでき、気象学が細分化かつ専門的になりつつある一方で、新たな進展が期待される種もあちこちにあるようです。

日本気象学会は、2013年度から公益社団法人として新たな一步を踏み出すことになりました。その定款に「学術及び科学技術、並びに文化の振興及び発展に寄与することを目的とする。」と記されているとおり、調査・研究の成果が社会に役立つことも期待されています。それぞれの研究成果が他分野の大きな発見につながる可能性もあることから、それらを会員間で情報共有するのみならず、広くお知らせする場を設ける必要があります。

中部支部は、地形も複雑で様々な気象現象を目にする事の多い地であり、これまでの粘り強くかつ先進的な活動による研究成果の蓄積があります。会員各位が引き続き活発に活動されることを期待するとともに、中部支部としても、支部研究会、公開気象講座、気象サイエンスカフェなどにより、その活動を支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお祈りします。

### ◆ 2013年度（平成25年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時 2013年（平成25年）7月4日（木）16時00分から
2. 場所 名古屋地方気象台 会議室
3. 総会次第
  - 1) 開会の辞
  - 2) 支部長挨拶
  - 3) 議長選出
  - 4) 委任状及び出席者報告
  - 5) 議案
    - (1) 2012年度（平成24年度）中部支部事業報告
    - (2) 2012年度（平成24年度）中部支部会計報告
    - (3) 2012年度（平成24年度）中部支部会計監査報告
    - (4) 2013年度（平成25年度）中部支部事業計画案
    - (5) 2013年度（平成25年度）中部支部予算案
    - (6) 支部規約改正

議案の番号は総会参加票に示された番号です。議案の詳細は以下に示します。

### ◆ 議案

#### 議案（1）2012年度（平成24年度）中部支部事業報告

- |        |  |
|--------|--|
| 5月10日  | 常任理事会の開催（名古屋大学地球水循環研究センター会議室）。   |
| 5月23日  | 支部だより第73号の発行。支部長挨拶、総会の案内、議案、第19期役員補充、第17回公開気象講座と平成24年度支部研究会開催の案内を掲載。                                     |
| 6月25日  | 第20期役員選挙の開票（6月22日投票締め切り）   |
| 7月24日  | 中部支部理事会および支部総会の開催（名古屋地方気象台会議室）   |
| 8月8日   | 第4回気象サイエンスカフェ in 名古屋の開催（ナディアパーク7 <sup>th</sup> カフェ）<br>テーマは「竜巻の脅威」。講師は小笠原明男氏（中部航空地方気象台）。<br>参加者は30名。     |
| 8月31日  | 第17回公開気象講座の開催（名古屋大学ESホール）。テーマは「大気中の微粒子（エアロゾル）が気候に及ぼす影響」。講師は持田陸宏氏（名古屋大学）、中島映至氏（東京大学）、竹村俊彦氏（九州大学）。参加者は68名。 |
| 10月13日 | サイエンスカフェ in 長野の開催（信州大学教育学部）。テーマは「2つの   |

温暖化—地球温暖化とヒートアイランド—」。講師は甲斐憲次理事（名古屋大学）。参加者は約 20 名。

11 月 2 日 支部だより第 74 号の発行。中部支部総会の報告、第 20 期中部支部役員選挙結果の報告、第 17 回公開気象講座の報告、平成 24 年度中部支部研究会のお知らせを掲載。

11 月 13 日～14 日 2012 年度中部支部研究会の開催（愛知教育大学）。20 件の発表。参加者は 1 日目が 30 名（学生 18 名）、2 日目が 21 名（高校生 3 名を含む学生が 15 名）。

3 月 5 日 臨時常任理事会の開催（名古屋大学）。

## 議案（2）2012 年度（平成 24 年度）中部支部会計報告

### 平成 24 年度収支計算書

（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日）

単位：円

	予算額	実行額	差額
<b>I 収入の部</b>			
事業活動収入			
本部交付金	730,400	731,600	-1,200
公開講座補助金	100,000	100,000	0
事業収入			
公開講座参加費 （テキスト代含む）	30,000	29,000	1,000
雑収入			
預金利子	200	207	-7
その他（テキスト代）	0	6,120	-6,120
事業活動収入計(1)	860,600	866,927	-6,327
<b>II 支出の部</b>			
事業活動支出 （事業費支出）			
支部だより	75,000	112,564	-37,564
支部だより印刷費	50,000	47,250	2,750
支部だより編集費	0	0	0
支部だより発送費	25,000	65,314	-40,314
ホームページ運営費	52,000	51,660	340
サーバー借料	52,000	51,660	340
公開講座開催費(シンポジウム)	200,000	249,563	-49,563
公開講座会場費	30,000	31,836	-1,836
公開講座運営費(印刷費含む)	100,000	145,607	-45,607
公開講座講師謝金・旅費	70,000	72,120	-2,120
シンポジウム参加・旅費	0	0	0
支部研究会開催費	550,000	294,775	255,225
支部研究会会場費	30,000	0	30,000
支部研究会運営費	90,000	24,000	66,000
支部研究会講演予稿集印刷費	230,000	157,500	72,500
支部研究会参加旅費	200,000	113,275	86,725
その他事業費	0	0	0

(管理費支出)			0
総会・理事会費	53,000	33,360	19,640
総会資料印刷費(往復はがき)	10,000	11,050	-1,050
理事会開催費	3,000	2,700	300
理事会交通費	40,000	19,610	20,390
役員選挙費	30,000	8,280	21,720
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	27,000	8,280	18,720
選挙管理委員会費	3,000	0	3,000
事務費	30,000	15,096	14,904
通信運搬費	10,000	2,180	7,820
消耗品費	15,000	12,916	2,084
労務費	0	0	0
その他支出 設備費	5,000	0	5,000
事業活動支出計(2)	990,000	765,298	224,702
III 予備費	0		
予備費支出計(3)	0		
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	-129,400	101,629	
前期繰越収支差額(B)	552,671	552,671	
次期繰越収支差額(A)+(B)	423,271	654,300	

### 平成24年度支部強化基金 収支予算書と実行額

(2012年4月1日～2013年3月31日)

単位:円

	予算額	実行額	差額
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	152,000	152,000	0
地区研究会等への支援	50,000	50,000	0
サイエンスカフェ	102,000	102,000	0
事業活動収入計(1)	152,000	152,000	0
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	50,000	0	50,000
交通費	40,000	0	40,000
宿泊費	10,000	0	10,000
サイエンスカフェ	102,000	40,060	61,940
1) 愛知県内	36,000	14,980	21,020
チラシ・資料印刷	6,000	0	6,000
講師謝金	20,000	13,000	7,000
講師交通費	10,000	1,980	8,020


2) 中部支部内	66,000	25,080	40,920
チラシ・資料印刷	6,000	0	6,000
講師謝金	20,000	10,000	10,000
講師交通費	40,000	15,080	24,920
事業活動支出計(2)	152,000	40,060	111,940
Ⅲ 予備費支出		111,940	-111,940
予備費支出計(3) 本部へ返納	0	111,940	-111,940
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0

### 議案(3) 2012年度(平成24年度)中部支部会計監査報告

2012年度中部支部会計報告について、多々良会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。

会計監査を行った結果、適法に処理されていたことを認めます。

平成25年4月3日

会計監査員 多々良秀世 

### 議案(4) 2013年度(平成25年度)中部支部事業計画案

- 5月13日 常任理事会の開催
- 5月下旬 支部だより第75号の発行  
内容は、支部長挨拶、支部総会の案内、議案、公開気象講座の開催計画、支部研究会の案内。
- 7月上旬頃 中部支部理事会および支部総会の開催
- 8月下旬頃 第18回公開気象講座の開催  
開催日、テーマ、講師については未定。テーマと講師を決定し準備入る必要があるため、本日の議題とする(資料①)。
- 11月上旬頃 支部だより第76号の発行  
内容は、支部総会の報告、公開気象講座の報告、および中部支部研究会の案内とプログラムを掲載。
- 12月上旬頃 平成25年度中部支部研究会の開催  
秋季全国大会(仙台市)の開催日程を考慮し、12月上旬を予定。開催場所として長野市を提案(資料②)。
- ・その他 気象サイエンスカフェの開催を予定。具体的には、サイエンスカフェ in 名古屋の開催(7月と1月の計2回を予定)と、名古屋以外の中部支部内(静岡、長野、金沢など)で2回の開催を予定。  
地区研究会への支援も行う。

### 議案(5) 2013年度(平成25年度)中部支部予算案

平成25年度収支予算書(案)  
(2013年4月1日~2013年3月31日)

単位:円

(2013年4月1日～2014年3月31日)

単位：円

	予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>I 収入の部</b>				
事業活動収入				
本部交付金	720,800	730,400	-9,600	注1
公開講座補助金	100,000	100,000	0	注2
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	30,000	30,000	0	注3
雑収入				
預金利子	200	200	0	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	851,000	860,600	-9,600	
<b>II 支出の部</b>				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	115,000	75,000	40,000	
支部だより印刷費	50,000	50,000	0	注4
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	65,000	25,000	40,000	注5
ホームページ運営費	52,000	52,000	0	
サーバー借料	52,000	52,000	0	
公開講座開催費(シンポジウム)	250,000	200,000	50,000	
公開講座会場費	30,000	30,000	0	
公開講座運営費(印刷費含む)	145,000	100,000	45,000	注5
公開講座講師謝金・旅費	70,000	70,000	0	
シンポジウム参加・旅費	0	0	0	
支部研究会開催費	650,000	550,000	100,000	注6
支部研究会会場費	30,000	30,000	0	
支部研究会運営費	90,000	90,000	0	
支部研究会講演予稿集印刷費	230,000	230,000	0	
支部研究会参加旅費	300,000	200,000	100,000	
その他事業費	0	0	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	53,000	53,000	0	
総会資料印刷費(往復はがき)	10,000	10,000	0	
理事会開催費	3,000	3,000	0	
理事会交通費	40,000	40,000	0	
役員選挙費	0	30,000	-30,000	注7
選挙公報・投票用紙印刷・発送費	0	27,000	-27,000	
選挙管理委員会費	0	3,000	-3,000	
事務費	30,000	30,000	0	
通信運搬費	10,000	10,000	0	
消耗品費	15,000	15,000	0	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	5,000	5,000	0	注8
事業活動支出計(2)	1,150,000	990,000	160,000	
<b>III 予備費</b>				
予備費支出計(3)	0	0	0	
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	-299,000	-129,400		
前期繰越収支差額(B)	654,300	552,671		
次期繰越収支差額(A)+(B)	355,300	423,271		

注1：本部からの支部活動費としての本部交付金  
1,200円X309名+350,000円で計上(個人会員数309名)  
注2：本部からの夏季大学補助金  
注3：25年度実施予定で計上  
注4：業者印刷で計上  
注5：業者に発送を依頼するため  
注6：名古屋近隣での開催を想定で計上  
注7：役員選挙なしで計上  
注8：プリンター修理費等で計上

**平成25年度支部強化基金 収支予算書(案)**  
(2013年4月1日～2014年3月31日)

単位:円

	予算額	前年度予算額	増減
<b>I 収入の部</b>			
事業活動収入			
本部交付金	152,000	152,000	0
地区研究会等への支援	50,000	50,000	0
サイエンスカフェ	102,000	102,000	0
事業活動収入計(1)	152,000	152,000	0
<b>II 支出の部</b>			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	50,000	50,000	0
交通費	40,000	40,000	0
宿泊費	10,000	10,000	0
サイエンスカフェ (4回開催)	102,000	102,000	0
1) 愛知県内(2回)	36,000	36,000	0
チラシ・資料印刷	6,000	6,000	0
講師謝金	20,000	20,000	0
講師交通費	10,000	10,000	0
2) 中部支部内 (2回)	66,000	66,000	0
チラシ・資料印刷	6,000	6,000	0
講師謝金	20,000	20,000	0
講師交通費	40,000	40,000	0
事業活動支出計(2)	152,000	152,000	0
<b>III 予備費支出</b>			
予備費支出計 (3) 本部へ返納	0	0	0
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0

### 議案 (6) 支部規約の改正

(1) 改正理由：現在の支部規約には、支部理事会成立条件が明記されていないため、これを明確にするため以下の改正を提案します。

(2) 改正案

第 15 条に下記の下線部分を追加する

第 15 条 支部理事会は支部長が召集する。  
支部理事会は、理事の過半数の出席により成立する。ただし、委任状その他の代理権を証明する書面を支部長に提出した場合は、出席したものとみなすことができる。  
 支部理事会には会計監査、幹事および当支部に籍をおく全国理事の出席を要請することができる。

なお、日本気象学会細則第 4 条によると、本部理事会の承認を得る必要があるため、本部理事

会に提案しました。

#### ◆ 中部支部第 20 期役員 の 補充

2013 年 4 月 1 日付けの人事異動により、藤田由紀夫理事（東海地区）、小林俊彦理事（東海地区）がそれぞれの地区から転出し役員を失格しました。このため日本気象学会中部支部選挙細則第 4 条の規定に従い、東海地区理事の後任として本田 彰会員と松本逸平会員を第 20 期理事に推薦しました。任期はいずれも 2014 年 6 月 30 日までです。

	新	旧
東海地区常任理事	松本逸平（名古屋地方気象台）	藤田由紀夫（名古屋地方気象台）
東海地区常任理事	本田 彰（岐阜地方気象台）	小林俊彦（岐阜地方気象台）

また、奥 清治幹事が 2013 年 4 月 1 日付の人事異動により転出したため、川端 昇会員が幹事として 3 月 5 日の臨時理事会で推薦され、承認されました。

	新	旧
幹 事	川端 昇（名古屋地方気象台）	奥 清治（名古屋地方気象台）

現在の理事会構成メンバーは以下のとおりです：

中部支部長・東海地区常任理事	神田 豊（名古屋地方気象台）
東海地区常任理事	松本 逸平（名古屋地方気象台）
東海地区常任理事	本田 彰（岐阜地方気象台）
東海地区常任理事	甲斐 憲次（名古屋大学）
東海地区常任理事	立花 義裕（三重大学）
東海地区常任理事	坪木 和久（名古屋大学）
北陸地区理事	木平 泰浩（金沢地方気象台）
長野・静岡地区理事	高橋 俊二（長野地方気象台）
会計監査	多々良秀世（日本気象協会東海支社）
幹事	川端 昇（名古屋地方気象台）
幹事	永尾 一平（名古屋大学）

#### ◆ 第 18 回公開気象講座のお知らせ

公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるものです。これまで夏季大学を含めて 17 回開催されています。今年は「竜巻（仮題）」というテーマで、木村龍治先生に竜巻のメカニズム、小林文明先生に現場における観測や被害状況、そして田中恵信先生に予測と注意情報の発令等を取り上げ、8 月 23 日（金）に名古屋大学 ES ホールで開催する予定です。詳細が決まり次第、中部支部会員の皆様への開催案内の配布などを通じて、お知らせしていく予定です。

#### ◆ 平成 25 年度支部研究会のお知らせ

日本気象学会の全国大会では、講演数が多いため、1 件あたりの発表時間が短いものと



なっています。支部研究会では、各講演の発表時間をできるだけ長く取ることにより、会員の間で深い議論を行うとともに、会員間の情報交換や交流の場を提供したいと考えています。今年度は、長野県の気象研究交流会との合同で、12月7日（土）、8日（日）に長野市（信州大学教育学部）での開催を計画しています。具体的な講演募集や会場の案内などは、8月頃にお知らせする予定です。

企画などの問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院環境学研究科

永尾一平

電話：052-789-3483

E-mail：i.nagao@nagoya-u.jp

